

特定非営利活動法人 日本喉摘者団体連合会

第 24 回 定期総会 議事録

1. 日 時 : 2023 年 5 月 1 2 日 (金) 午後 1 時より開会
2. 場 所 : 東京都障害者福祉会館 (東京都港区) 1 階 A 1 ~ 2 室
3. 出 席 : 青森喉友会、立声会、茨城甦声会、栃木県喉摘会、群鈴会、埼玉銀鈴会、(公社) 銀鈴会、神奈川銀鈴会、横浜市港笛会、山梨県喉会、長野県信鈴会、新潟県美鈴会、静岡県静鈴会、名声会、岐阜睦声会、石川喉友会、福井県喉友会、三重喉友会、京都喉友会、(公財) 阪喉会、(兵) 神鈴会、奈良交声会、新声会愛声会、福岡大学病院喉笛会、久留米喉友会、熊本県天声会
篠監事、堀内監事、秋元相談役、杉山事務局長、尾上事務局補佐
4. 司会・杉山から、開会宣言及び、会員 53 団体中出席 26 団体、委任状出席 26 団体、合計 52 団体の出席 (98%)
よって本日の第 24 回定期総会は、定款第 26 条により定足数を満たしており適法に成立する旨の報告があった。
5. 日喉連、松山会長から挨拶
6. 来賓祝辞 —
 - ① 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 部長 辺見 聡様の代理で
自立支援振興室 室長補佐 富原 博様 ご祝辞を頂いた。
 - ② 東京都福祉保健局 局長 鈴木 和典様 ご祝辞を頂いた。
 - ③ 日喉連顧問 東京工科大学医療保健学部 教授 吉原 俊雄様 ご祝辞を頂いた。
7. 司会・杉山より、本日出席のご来賓及び各団体長、役員の方を紹介した。

※ ご来賓ご退席後、暫時休憩。

8. 議 事 : 定款第 25 条に基づき松山会長が議長に就任。
議長は、定款第 29 条の規定により、議事録署名人に篠監事、堀内監事を指名し、午後 1 時 30 分から議事を開始した。

第 1 号議案 「2022 年度事業報告並びに決算見込みについて」

会長より頁 1～3「2022 年度事業報告（案）」に基づき説明があった。

事務局・杉山より頁 4～7「2022 年度活動計算書」、「貸借対照表」、「財産目録」及び「2022 年度会費受入明細表」に基づき説明があった。

補足説明は以下のとおり。

活動計算書では、経常費用のうち「租税公課」は法人税等 2017 年～2020 年の 4 年分を支払った。NPO 日喉連は免税事業者でないので、事業収益は課税対象となり、支払いは 2022 年度決算に反映された結果である。

続いて頁 8「監査報告書」に基づき篠監事より報告があった。

以上、第 1 号議案は、拍手多数により承認された。

出席者全員により承認された。

第 2 号議案 「2023 年度事業計画並びに予算案について」

会長より頁 9～10「2022 年度事業報告書（案）」に基づき説明があった。

杉山・事務局より頁 11「2022 年度活動予算書(案)」に基づき説明があった。

補足説明は以下のとおり。

2023 年度活動予算については、予算作成時点では、課税は考慮していなかったため、この予算の収益から前記の税金分が減額される計画になる。

物品販売事業収益の各団体への配分は、今後課税分を差し引いた金額を配分することになる。日喉連物品販売事業の税金は日喉連で納税するので各団体で税務処理の必要はない。「分配金」または「支援金」として扱う。

以上、第 2 号議案は、拍手多数により承認された。

第 3 号議案 「役員選任の件」

会長より議案書頁 12「任期満了に伴う役員選任について」に基づき説明があった。

当連合会役員は、2023 年 5 月をもって任期満了になることから、2023 年度新役員名簿（案）のとおり提案したい。

ご承認いただければ東京都に役員変更の手続きを行う。

第 3 号議案は、拍手多数により承認された。

関連報告として、理事会案件ではないが、頁 14「2023 年度ブロック長候補者」の通り、ブロック長、副ブロック長の選任があった旨会長より報告があった。

第 4 号議案 「次回全国喉摘者発声大会」について

第 12 回発声大会は、2024 年 11 月の開催を予定し、JKA に助成金申請を 2023 年 8 月に行う。会場は東京都障害者福社会館にて行う。

第 4 号議案は、拍手多数により承認された。

以上議事案件は終了した。

5. 報告事項について

- (1) 各団体の抱えている問題は、コロナ禍のこの 3 年発声訓練実施に苦勞し、会員数の減少に大きな影響を与えた。団体によっては会員数 20 名以下のところもあり、団体維持も難しい状況にある。日喉連としては、団体維持に必要な対策等を今後検討したい。
- (2) 今後も団体が直面する問題については、まずはブロック単位でその問題を議論し解決策を検討して欲しい。その上で日喉連に課題として挙げて欲しい。
- (3) 松山会長からは、我々の取り巻く環境はますます厳しくなっている状況下で、従来の方法に拘っていると行き詰まることになろう。団体の再編、オンライン訓練の導入など今後の課題として検討が必要である。
- (4) 九州ブロック指導者養成研修会初研修会は、9 月 30 日～10 月 1 日九州がんセンターで実施する。

杉本副会長の閉会の辞で 14 時 50 分審議終了した。

(議事録作成者：杉山 喬)